

2023年1月30日
株式会社アイスタット
News Release

株式会社アイスタット マンスリーレポート

- 節約に関するアンケート調査 -

(調査期間：2023年1月20日)

物価の値上げラッシュが続き、日本の平均世帯における家計の負担は、年間で約7～10万円も増加するという試算が出ています。そんな現況を乗り切るために、いろいろと節約をして家計防衛策を講じているのではないのでしょうか。

株式会社アイスタット（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：志賀保夫）は、節約の実態を知る目的として、節約に関する調査を行いました。

業界最大規模のモニター数を誇るセルフ型アンケートツール Freeasy を運営するアイブリッジ株式会社（本社：大阪府大阪市）の会員 20 歳～ 59 歳の300人を対象に調査を実施しました。

調査結果サマリー

- ✔ **節約をしている人は88%で、圧倒的多数を占める！**

- ✔ **家計費8項目の中で、とても節約しているもの**
 - 第1位 外食費 (38.7%)**
 - 第2位 散髪・美容・被服費 (30.0%)**
 - 第3位 趣味・娯楽・旅行費 (28.7%)**

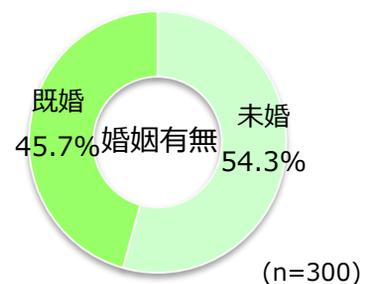
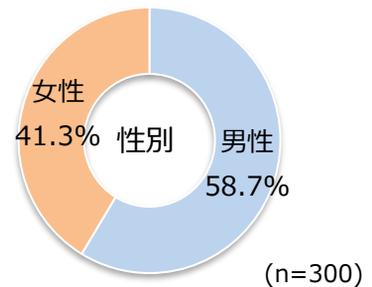
- ✔ **「外食費」をととても節約している人は、「世帯年収300万円代以下」「近畿地方」ほど多い！**

調査概要

形式	Webアンケート形式
調査期間	2023年1月20日
回答者	セルフ型アンケートツールFreeasyに登録している20歳～59歳の会員300人
調査機関	株式会社アイスタット

【回答者属性】

	全体	300名	100.0%
性別	男性	176名	58.7%
	女性	124名	41.3%
年代	30代	39名	13.0%
	40代	101名	33.7%
	50代	160名	53.3%
有婚 無姻	未婚	163名	54.3%
	既婚	137名	45.7%
職業	会社員(正社員)	99名	33.0%
	会社員(契約・派遣社員)	14名	4.7%
	経営者・役員	8名	2.7%
	公務員(教職員を除く)	9名	3.0%
	自営業	26名	8.7%
	自由業	7名	2.3%
	医師・医療関係者	1名	0.3%
	専業主婦	51名	17.0%
	学生	1名	0.3%
	パート・アルバイト	33名	11.0%
	無職	45名	15.0%
	その他	6名	2.0%
居住地	北海道・東北地方	35名	11.7%
	関東地方	112名	37.3%
	中部地方	45名	15.0%
	近畿地方	58名	19.3%
	四国・中国・九州地方・沖縄	50名	16.7%



主な分析結果

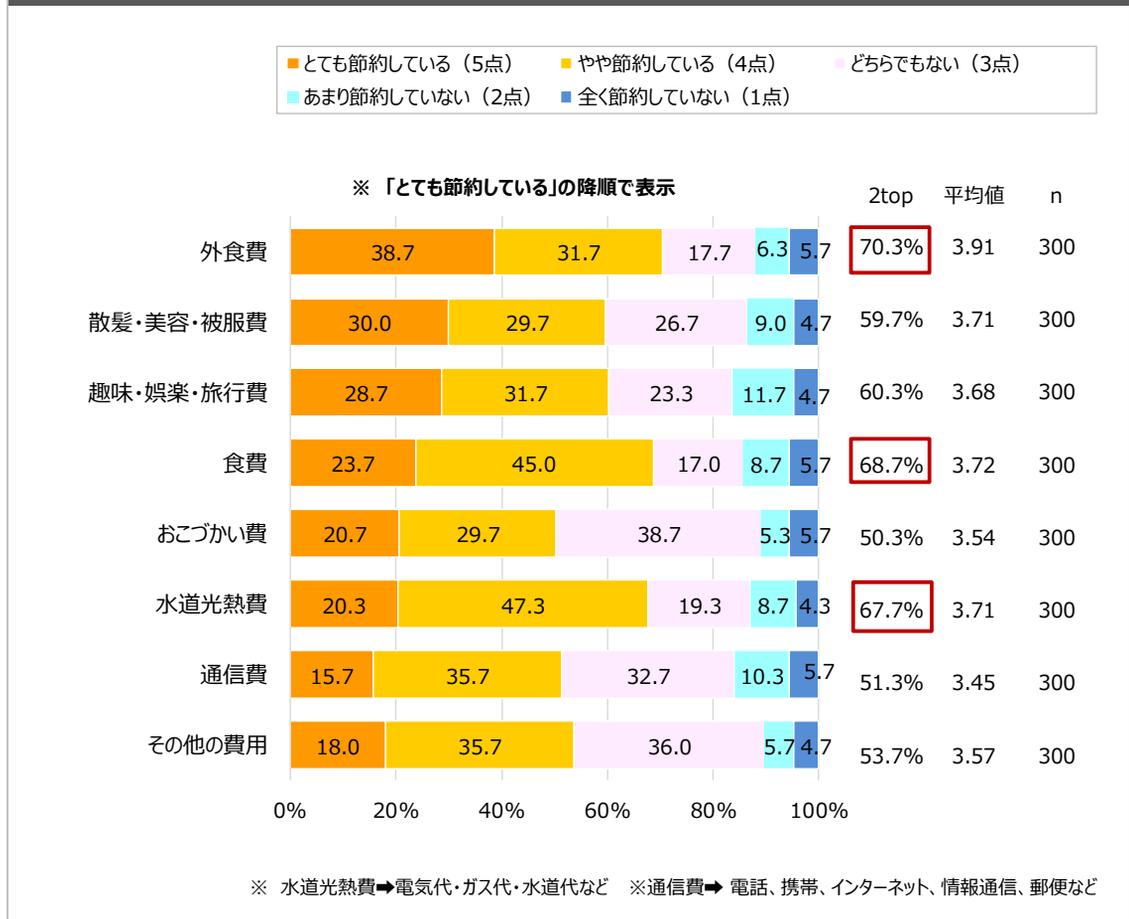
とても節約しているもの第1位は外食費（38.7%）、第2位は散髪・美容・被服費（30.0%）

最近1年で節約しているもの、もしくは節約を心がけているものを8項目で聞いた。

各項目の「とても節約」を回答した1topの割合でみると、「外食費」が38.7%で最も多く、次に「散髪・美容・被服費」の30.0%、「趣味・娯楽・旅行費」の28.7%と続いた。

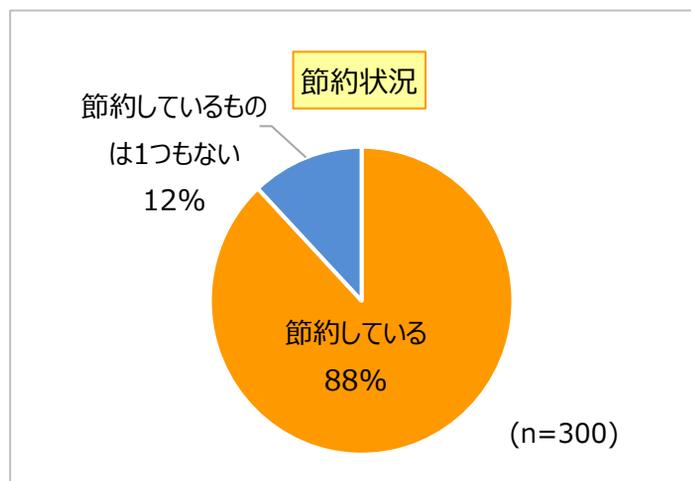
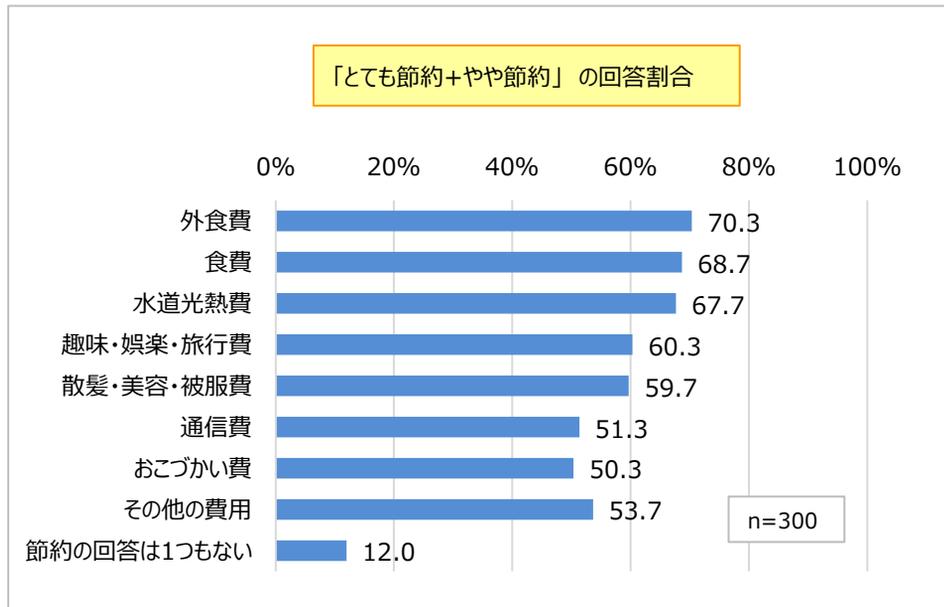
各項目の「とても節約」「やや節約」を足し上げた2topの割合でみると、「外食費」が70.3%で最も多く、次に「食費」の68.7%、「水道光熱費」の67.7%と続いた。節約1topと節約2topでは、2位以降の節約の内容が異なる結果であった。

【問1】 最近1年であなたが節約しているもの、もしくは節約を心がけているものをお知らせください。
(各質問、回答は1つ)



節約をしている人は88%で、圧倒的多数を占める！

2top（とても節約+やや節約の回答割合）から節約状況の有無を作成してみると、「節約している」は88%、「節約しているものは1つもない」が12%で、約9割近くの人が節約をしていることが明らかとなった。昨今の物価値上げラッシュが家計に影響していることがうかがえる。



「外食費」をととも節約している人は、「世帯年収300万円代以下」「近畿地方」ほど多い！

「ととも節約している」を回答した人の属性をみた。第1位の「外食費」を回答した人は、「世帯年収が300万円代以下」「40代」「女性」「未婚」「学生、無職、その他」「近畿地方」で最も多かった。

世帯年収別のみで見ると、「外食費」「散髪・美容・被服費」「食費」「おこづかい費」「その他」を回答した人は「300万円代以下」で最も多く、「趣味・娯楽・旅行費」を回答した人は「400万円代～700万円代」で最も多く、「水道光熱費」「通信費」を回答した人は「800万円代以上」で最も多かった。

(横%表)

		「ととも節約」を回答した割合								n	
		外食費	散髪・美容・被服費	趣味・娯楽・旅行費	食費	おこづかい費	水道光熱費	通信費	その他の費用		「ととも節約」の回答なし
全体		38.7	30.0	28.7	23.7	20.7	20.3	15.7	18.0	43.3	300
世帯年収	300万円代以下	43.1	36.6	27.6	26.8	26.0	22.0	16.3	22.8	42.3	123
	400万円代～700万円代	38.6	27.7	31.7	19.8	17.8	15.8	13.9	15.8	46.5	101
	800万円代以上	31.6	22.4	26.3	23.7	15.8	23.7	17.1	13.2	40.8	76
年代	20代・30代	33.3	25.6	25.6	17.9	17.9	17.9	17.9	12.8	51.3	39
	40代	40.6	34.7	23.8	22.8	16.8	17.8	18.8	18.8	47.5	101
	50代	38.8	28.1	32.5	25.6	23.8	22.5	13.1	18.8	38.8	160
性別	男性	35.2	29.0	26.7	22.2	20.5	21.6	14.2	18.8	43.2	176
	女性	43.5	31.5	31.5	25.8	21.0	18.5	17.7	16.9	43.5	124
結婚	未婚	42.3	31.3	24.5	25.2	23.3	23.3	17.8	21.5	42.9	163
	既婚	34.3	28.5	33.6	21.9	17.5	16.8	13.1	13.9	43.8	137
職業	有職者	32.3	27.4	28.0	23.8	18.9	23.8	15.9	16.5	45.7	164
	パート・アルバイト	33.3	21.2	27.3	21.2	18.2	12.1	15.2	15.2	48.5	33
	専業主婦	47.1	33.3	35.3	23.5	21.6	11.8	13.7	15.7	39.2	51
	学生、無職、その他	53.8	40.4	25.0	25.0	26.9	23.1	17.3	26.9	36.5	52
居住地	北海道・東北地方	34.3	31.4	20.0	20.0	25.7	25.7	17.1	22.9	42.9	35
	関東地方	40.2	30.4	27.7	26.8	21.4	20.5	15.2	18.8	42.9	112
	中部地方	28.9	22.2	31.1	20.0	13.3	20.0	17.8	17.8	42.2	45
	近畿地方	44.8	32.8	36.2	27.6	25.9	17.2	15.5	19.0	41.4	58
	四国・中国・九州地方・沖縄	40.0	32.0	26.0	18.0	16.0	20.0	14.0	12.0	48.0	50

表側項目内を縦に見て最大に彩色

クロス集計を行った結果が母集団においても関連性があるといえるかを独立性（カイ二乗）の検定で調べた。「職業×外食費」のみ p 値 < 0.05 で有意差があり、関連性があるといえる。それ以外は p 値 > 0.05 で有意な差がみられず、関連性があるといえないことがわかった。

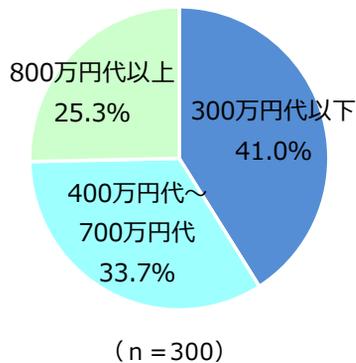
独立性（カイ二乗）検定	外食費	散髪・美容・被服費	趣味・娯楽・旅行費	食費	おこづかい費	水道光熱費	通信費	その他の費用	ととも節約の回答はない
世帯年収	p 値	0.269	0.086	0.698	0.469	0.153	0.371	0.818	0.713
	相関	0.094	0.128	0.049	0.071	0.112	0.081	0.037	0.048
年代	p 値	0.731	0.436	0.285	0.580	0.366	0.608	0.429	0.213
	相関	0.046	0.074	0.092	0.060	0.082	0.058	0.075	0.102
性別	p 値	0.145	0.645	0.371	0.464	0.914	0.519	0.407	0.950
	相関	0.084	0.027	0.052	0.042	0.006	0.037	0.048	0.004
婚姻有無	p 値	0.155	0.595	0.085	0.509	0.217	0.162	0.269	0.882
	相関	0.082	0.031	0.100	0.038	0.071	0.081	0.064	0.009
職業	p 値	0.021	0.198	0.682	0.983	0.636	0.163	0.967	0.558
	相関	0.180	0.125	0.071	0.023	0.075	0.131	0.030	0.083
居住地	p 値	0.530	0.801	0.516	0.630	0.451	0.913	0.987	0.966
	相関	0.103	0.074	0.104	0.093	0.111	0.057	0.033	0.044

※ 相関 → クラメル関係数

※ p 値 < 0.05 (有意差あり) に黄色彩色

世帯年収の内訳

【問2】世帯年収（居住者全員の年収を合算）をお知らせください。（○は1つ）



世帯年収	n	%
100万円未満	29	9.7%
100万円代	17	5.7%
200万円代	39	13.0%
300万円代	38	12.7%
400万円代	32	10.7%
500万円代	26	8.7%
600万円代	26	8.7%
700万円代	17	5.7%
800万円代	16	5.3%
900万円代	13	4.3%
1,000万円以上	47	15.7%
全体	300	100.0%

(横%表)

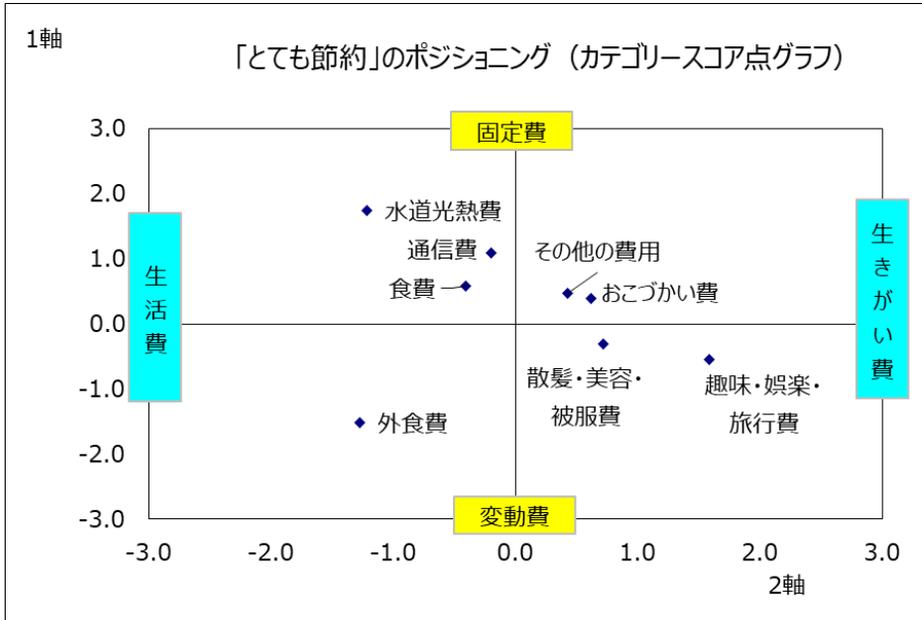
		世帯年収			n
		300万円代以下	400万円代～700万円代	800万円代以上	
全体		41.0	33.7	25.3	300
年代	20代・30代	33.3	41.0	25.6	39
	40代	47.5	33.7	18.8	101
	50代	38.8	31.9	29.4	160
性別	男性	42.0	29.0	29.0	176
	女性	39.5	40.3	20.2	124
婚姻有無	未婚	62.0	24.5	13.5	163
	既婚	16.1	44.5	39.4	137
職業	有職者	30.5	34.8	34.8	164
	パート・アルバイト	54.5	39.4	6.1	33
	専業主婦	21.6	51.0	27.5	51
	学生,無職,その他	84.6	9.6	5.8	52
居住地	北海道・東北地方	45.7	34.3	20.0	35
	関東地方	37.5	30.4	32.1	112
	中部地方	40.0	42.2	17.8	45
	近畿地方	37.9	39.7	22.4	58
	四国・中国・九州地方・沖縄	50.0	26.0	24.0	50

表側項目内を縦に見て最大に彩色

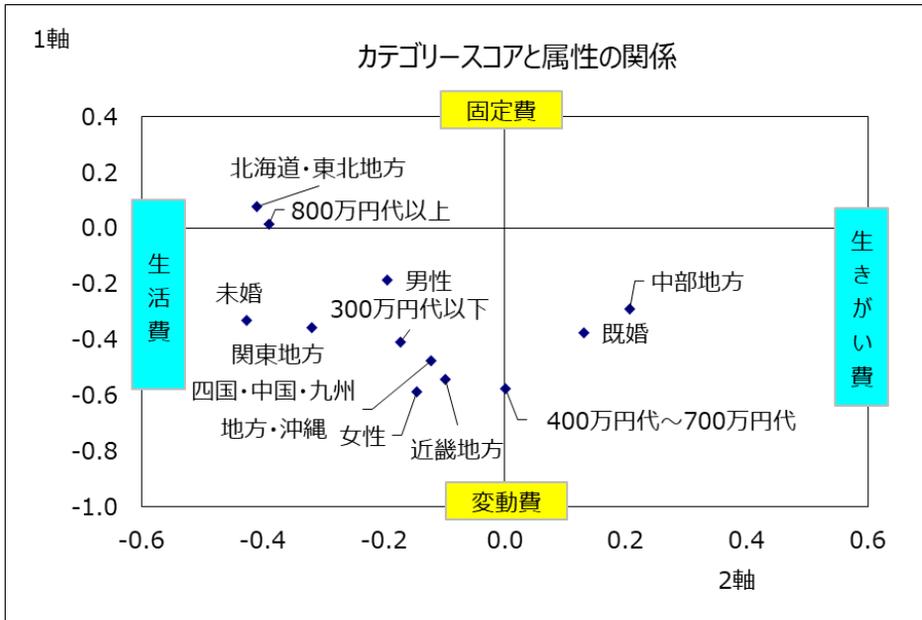
今月のレベルアップ ↑ 数量化3類 ・ クラスター分析

数量化3類とは、カテゴリー、サンプルの類似度やポジショニングを行う解析手法。

「とても節約」の回答内容に重み（ウエイト）を付けた関係式を作成し、各個人（人）の得点を算出します。重み（ウエイト）を**カテゴリースコア**、得点を**サンプルスコア**といいます。適用できるデータは数量データで、カテゴリーデータの場合「1」「0」に変換します。

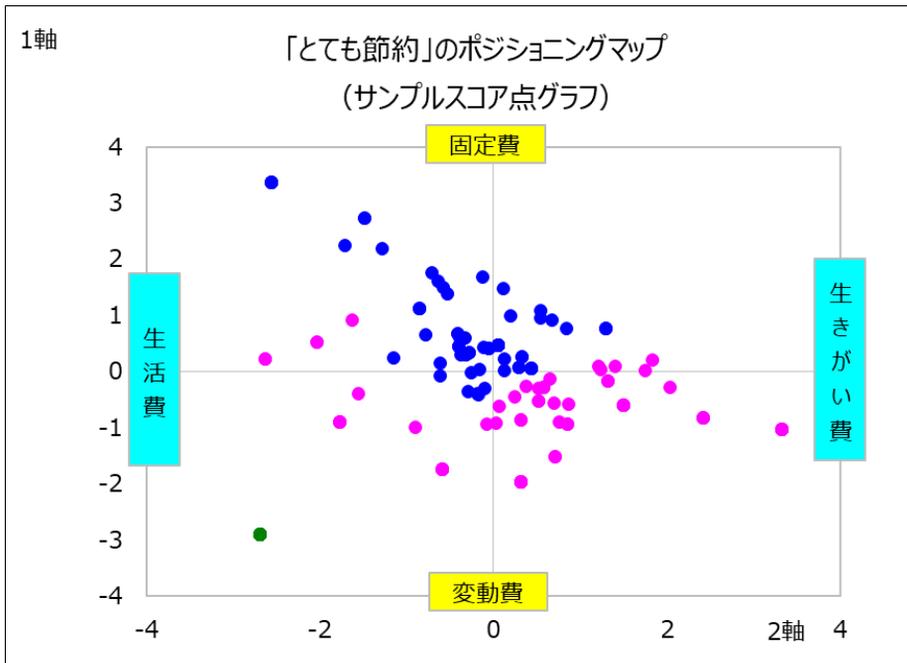


点グラフの傾向を見て、縦軸、横軸にネーミングします。



上のグラフの位置と照合する

「既婚」「中部地方」「世帯年収400～700万円代」は、変動費・生きがい費を節約する傾向



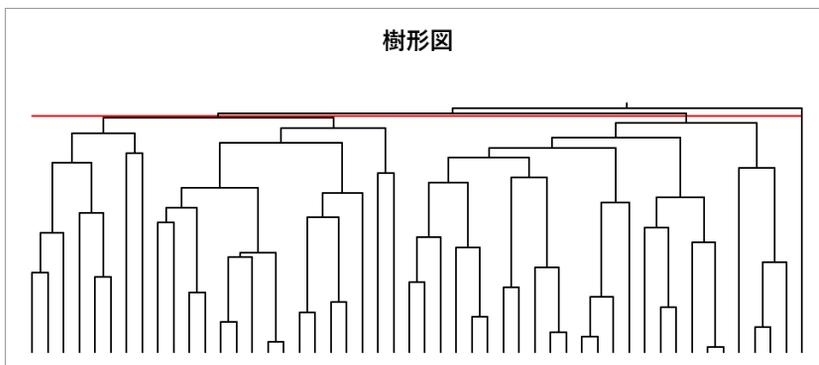
マークの色は次に述べるクラスタ分析で説明

軸No.	相関係数
1	0.5199
2	0.4755

分析精度
相関係数が0.5以上は重要度が高い軸。
0.3以下は使わない。今回の結果は使える。

得点化された人々（サンプルスコア）を**クラスタ分析**により、さらにグループ化した。

クラスタ分析とは、平面あるいは空間にプロットされた個体間の距離を調べ、距離の近い個体を集めて集落（クラスタ）を作り、個体を分類する方法。



今回は3グループでグルーピングした

- ① 回答者300名のうち、得点化された人々（サンプルスコア）は170名。
- ② クラスタ分析により、170名を3つのグループにグルーピング。
- ③ 「3グループ」と「とても節約している」のクロス集計を行い、黄色彩色からネーミングを作成した。
- ④ グループに入らなかった130名は、「とても節約」の回答が1つもない人。
クロス集計では4つ目のグループとして、組み入れた。

(横%表)		「とても節約している」を回答した割合									n
		水道光熱費	食費	散髪・美容・被服費	おこづかい費	通信費	その他の費用	趣味・娯楽・旅行費	外食費	とても節約の回答なし	
グラフ点↓	全体	20.3	23.7	30.0	20.7	15.7	18.0	28.7	38.7	43.3	300
節約タイプ	1 生活必需品費派	73.7	68.4	64.5	59.2	53.9	53.9	52.6	63.2	0.0	76
	2 趣味・娯楽・旅行費派	6.8	25.7	55.4	23.0	8.1	17.6	62.2	64.9	0.0	74
	3 外食費派	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	20
	深刻な節約なし派	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	130

表側項目内を縦に見て最大に彩色

- ⑤ 節約タイプと属性をクロス集計し、節約タイプの傾向を調べた。（プロフィール分析）項目を横に見て解釈。

例) 節約タイプが「生活必需品派」は、「世帯年収800万円代以上」「男性」「有職者」で多い。

「外食費派」は、「世帯年収300万円代以下」「40代」「女性」「未婚」「パート・アルバイト」「学生・無色・その他」「関東地方」で多い。

(横%表)		世帯年収			n
		300万円代以下	400万円代~700万円代	800万円代以上	
	全体	41.0	33.7	25.3	300
節約タイプ	生活必需品費派	43.4	25.0	31.6	76
	趣味・娯楽・旅行費派	39.2	40.5	20.3	74
	外食費派	45.0	25.0	30.0	20
	深刻な節約なし派	40.0	36.2	23.8	130

表側項目内を縦に見て最大に彩色

(横%表)		婚姻有無		n
		未婚	既婚	
	全体	54.3	45.7	300
節約タイプ	生活必需品費派	57.9	42.1	76
	趣味・娯楽・旅行費派	48.6	51.4	74
	外食費派	65.0	35.0	20
	深刻な節約なし派	53.8	46.2	130

表側項目内を縦に見て最大に彩色

(横%表)		年代			n
		20代・30代	40代	50代	
	全体	13.0	33.7	53.3	300
節約タイプ	生活必需品費派	10.5	31.6	57.9	76
	趣味・娯楽・旅行費派	12.2	28.4	59.5	74
	外食費派	10.0	40.0	50.0	20
	深刻な節約なし派	15.4	36.9	47.7	130

表側項目内を縦に見て最大に彩色

(横%表)		職業				n
		有職者	パート・アルバイト	専業主婦	学生、無職、その他	
	全体	54.7	11.0	17.0	17.3	300
節約タイプ	生活必需品費派	63.2	7.9	10.5	18.4	76
	趣味・娯楽・旅行費派	48.6	8.1	25.7	17.6	74
	外食費派	25.0	25.0	20.0	30.0	20
	深刻な節約なし派	57.7	12.3	15.4	14.6	130

表側項目内を縦に見て最大に彩色

(横%表)		性別		n
		男性	女性	
	全体	58.7	41.3	300
節約タイプ	生活必需品費派	67.1	32.9	76
	趣味・娯楽・旅行費派	52.7	47.3	74
	外食費派	50.0	50.0	20
	深刻な節約なし派	58.5	41.5	130

表側項目内を縦に見て最大に彩色

(横%表)		居住地					n
		北海道・東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	四国・中国・九州地方・沖縄	
	全体	11.7	37.3	15.0	19.3	16.7	300
節約タイプ	生活必需品費派	11.8	42.1	14.5	18.4	13.2	76
	趣味・娯楽・旅行費派	12.2	29.7	16.2	23.0	18.9	74
	外食費派	10.0	50.0	15.0	15.0	10.0	20
	深刻な節約なし派	11.5	36.9	14.6	18.5	18.5	130

表側項目内を縦に見て最大に彩色

今月のレベルアップで使用するソフト ➡ マルチ多変量（試供版あり）
 多変量解析セミナーⅠ 開催中 ➡ 予測をするための多変量解析
 多変量解析セミナーⅡ 開催中 ➡ 類似化・分類をするための多変量解析

サマリーレポートはこちらを参照ください。
こちらを参照ください。

<https://istat.co.jp/investigation/2023/1/result>

統計分析研究所 株式会社アイスタットについて

【株式会社アイスタット（統計分析研究所）会社概要】

- ◇所在地 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-22-26 パラドール東高円寺3F（旧YTビル）
- ◇設立 2011年6月2日
- ◇代表者 代表取締役社長 志賀 保夫
- ◇事業内容 株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。

◆本調査・弊社事業などに関するお問合せ先◆

統計分析研究所 株式会社アイスタット <https://istat.co.jp/>

総務部 橋本 有子 (somu@istat.jp) TEL: 03-3315-7637/FAX: 03-3315-7660

サービスのご案内

株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。「わかりやすい統計学」をモットーに、8つのコア・サービスをみなさまにご提供いたします。

